

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可) ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 森の風景	(ふりがな) もりのふうけい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	にほんぶなの森林文化		
伝承地域	石川町中田地区		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 元禄年間に幕府から 300 町歩に及ぶ入会地として預かったもので、現在は、中田造林組合が管理をしている。		
内 容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 石川町東部に、「にほんぶな」と呼ばれる景勝地 (標高 616m) がある。ブナの自生やニッコウキスゲ、スズラン等の植生が見られ、頂上からは那須連峰や磐梯山、安達太良山も眺望できる。古くは白河城下から 2 本のブナの大木が見えたという故事からこの名がつけられたと言われている。 この森には、この地区出身で「大竹式炭窯」の考案者である大竹亀蔵が豊かなクヌギやナラの木を使い炭焼きの講習を行った炭窯跡や軍馬や農耕場を生産した放牧場跡 (養駒運動場)、蚕を育てた桑園跡、塩の道と呼ばれる古道などが残されており、地域住民が一体となって整備保存活動を行っている。 また、この中田地区には、里山の文化とも言える民俗芸能「三匹獅子舞、神楽、白鉄踊りなど」が伝わっている。		
大きさ・材質	(大きさ: 緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの) ぶなの大木 (周囲 210cm)	(材質)	—
見 頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) ニッコウキスゲ (6 月下旬)、スズラン (5 月中旬)		
交通アクセス	水郡線磐城石川駅から車で約 20 分		
文化財等の指定状況	平成 16 年「日本の里地里山 30」(読売新聞主催、環境省共催)		
問い合わせ先	石川町役場地域づくり推進課	電話	0247-26-9111

【フリーフォーマット】

キーワード

<にほんぶな>



山頂付近



山頂から西を望む
真正面には遠く二岐山(天栄村)が見える
(平成 25 年 12 月)